

# 中沢かつゆき 通信

## 自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自民党鎌倉市連合支部青年局長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

## 復興の年

東日本大震災から1年。被災地ではいまだ復旧が進んでいません。昨年秋までに、ようやく被災3県の復興計画ができましたが、予算執行も大きく遅れ、インフラ復旧すら手付かずのところがあります。一方、瓦礫が被災地の復興を大きく妨げている現実もあります。神奈川県では瓦礫受け入れを表明しましたが、地元のご理解がいただけていません。マスコミでは、被災地の報道が少なくなり、忘れ去られようとしています。しかし、決して忘れてはいけません。今でも多くの方が行方不明であり、多くの方が仮設住宅で過ごしています。そしてまだまだ多くの支援を必要としています。これからも、支援を続けていきたいと思っています。

鎌倉市議会2月定例会が開会し、一般質問では、「防災」と「子供たちの環境」について質問を行いました。防災については、東日本大震災から1年経ちますので、総括として確認質問を中心に行いました。子供たちの環境等については、保育園の課題と学童保育の課題について質問を行いました。市立保育園保護者会会長をしていた時「市立保育園民営化」に取り組みました。当時様々な話し合いの中で出た問題が、今また出ていることに疑問を持ちました。学童保育では、その在り方が大きく問われることが起きています。運営指針案もできましたので、より良い学童保育を作っていかなければと思います。

## 東日本大震災から1年

東日本大震災から1年、多くの課題が表面化しました。鎌倉市で策定している防災計画の根本的な見直しや、神奈川県が想定している津波被害想定の見直しなど緒に就いたばかりの防災対策に、一刻も早く取り組まなくてはなりません。旧鎌倉市内では、神奈川県から津波想定14.4mと発表がありました。海岸沿いにある公共施設では、材木座保育園は高台避難まで20分以上かかります。0歳児から5歳児まで100人が一斉に非難することはかなり厳しい状況です。避難所等の表示については、全国統一のものはありません。しかし、観光客の多い鎌倉では、可能な限り判りやすく全国的に使われている表示を使用する必要があります。神奈川

県が策定する見直しされた防災計画に基づき、津波浸水ハザードマップや土砂災害ハザードマップなどを作成する予定です。避難ビルなどの指定や昨年6月議会で質問しました、新たな寺社などの民間避難所指定も行っていきます。そして、民間避難所への物資備蓄や無線整備などについても今後対応していきます。中期的には、神奈川県と防災対策ハード整備を進めていかなければなりません。とにかく「逃げる」ことが必要な津波に対して、逃げる道を作っていかなければなりません。長期的には、国と根本的な対策を検討していかなければなりません。観光都市・鎌倉には世界中から観光客の方が訪れます。その対策を。

## 県保育園補助金削減とひとり親家庭保育園入所条件改定

神奈川県独自の認可保育園への補助金である「保育所機能強化費」が削減される方向です。すでに今年度も削減されていますが、減額分を鎌倉市が負担しています。鎌倉市は、来年度については、減額分を今年度と同じく負担する予定です。今後は補助金が0となることが予想されます。待機児が多い0-2歳児を経営努力でより多く受け入れている保育園ほどダメージが大きく、更には居室面積を2.475㎡/1人→3.3㎡/1人という基準が25年度から急遽義務付けられることもあり、待機児の特に多い0-2歳児を受け入れる保育園が少なくなってしまう懸念があります。鎌倉市では、特に玉縄地区と旧鎌倉地区では具体的な計画もまだなく、待機児対策が急務となっています。補助金削減の無いよう、これからも注視していきます。

平成17年、材木座保育園保護者会会長の時、行政と進めていた由比ガ浜への市立保育園建設がようや

### 第一小学校の校庭利用

平成17年、材木座保育園民営化とともに話し合ってきましたのが、新市立保育園、第一小学校区こどもの家複合施設建設です。現市長は第一小学校については、校舎内に設置するという事を明言し、実際学校も了承していました。しかし、急ぎよ建設を行うこととなりました。しかも、学童保育の保護者から「第一小学校の校庭を、毎日すべて使わせるよう」要求が出ますと、現市長はそのように指示を出しました。学校の所管は教育委員会であり、市長の職務権限外です。しかも、野球とサッカーで話し合っている校庭を学童で使うので他で練習するように、など野球とサッカーで頑張っている子供を蔑ろにすることです。学童建設と校庭使用が、市長と要求を出している保護者との密接な関係によって進められていることに、見逃すことができないことと質問をしました。市長からは、今使用している子供を第一に考えます、という答弁でした。

く動き始めることになりました。当初規模よりも多くの保育園児を受け入れられる規模とするよう要望しましたが、民営化する材木座保育園の津波に対しての安全性が課題として残っております。

昨今の社会情勢で、子供を保育園に預けたいという要望がかなり増えています。その中で、鎌倉市が行っている保育園入所条件ポイント制で、今まで共働き家庭よりもひとり親家庭のほうがポイントが低くなるということ指摘しました。担当課でも気付かなかったことで、早速改めました。ひとり親家庭の課題は、行政としてなかなかわからないことが多く、また相談もづらいのが現状です。今後、ひとり親家庭、特に父子家庭もより相談しやすい行政であってほしいということをお願いしました。

### 中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業  
東京電機大学理工学部情報科学科卒業  
スパライズ株式会社代表取締役  
大阪観光大学観光学研究所  
客員研究員  
鎌倉中央ロータリークラブ理事  
材木座保育園保護者会会長  
にかいどう子どもの家父母会会長  
鎌倉市テコンドー協会顧問  
県議会議員中村省司秘書  
著書「安全な温泉・あぶない温泉」  
(草思社刊)

二階堂在住

事務局：Tel 0467-61-0305

Fax 0467-61-0315

## ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？



\* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります \*

一関温泉郷：東北新幹線一ノ関駅から巖美溪に向くと、磐井川に沿って一関温泉郷が点在します。泉質はナトリウム塩化物泉、山に向かうほど酸性の温泉となります。皮膚病などにいい温泉です。一関藩は、伊達騒動で有名ですが、後に領主となった田村家は、伊達政宗公正室・愛姫の実家であり、2代藩主忠宗公が再興しました。伊達政宗公が絶賛した巖美溪は、国の名勝及び天然記念物に指定されています。巖美溪はその景観もさることながら「空飛ぶ団子」でも有名。早めに宿に入って散策に出かけると、もう一つの旅があります。昨年、平泉が世界遺産登録となり、観光の拠点として再度注目されています。一関から磨崖仏で有名な岩谷堂を巡って毛越寺へ。平安時代勅使が訪れたルートとも言われています。観自在王院跡から金鶏山、伽羅の御所跡、義経堂から柳の御所跡、そして中尊寺。平安後期の陸奥政権の栄華を偲びながら、のんびり史跡めぐりも楽しいものです。

<http://www.ichinoseki-net.jp/onsenkyo/>